

図書室だより



開成町図書室 ▶ ☎20-4742
 開室時間 ▶ 火～金曜日：10時～20時30分 / 土・日曜日：10時～17時
 休室日 ▶ 毎週月曜日
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開室時間を変更することがあります。
 ※貸出冊数は一人4冊までです。貸し出し期限は2週間です。

親子で楽しむ

おすすめ絵本

町では、読書を通して家族のコミュニケーションを深めるため、毎月1日を「ファミリー読書デー」としています。図書室で借りられる、親子で楽しめる本を紹介します。



じしん・つなみ どうするの？

せべ まさゆき/絵、国崎 信江/監修、WILLこども知育研究所/編著

突然やってきた地震。そのとき命を守るにはどうすればいいでしょう。この絵本は地震や津波、火山の噴火に備える方法がわかりやすく解説されています。

絵本で防災を知ろう！

自然災害はいつ起こるかわかりません。もしもの時、子どもも自分で自分を守ることが大切です。「地震が起きた時、1人だったらどうする？ひなん場所はどこかな？」など、お子さんに問いかけてください。絵本を通して親子と一緒に防災について学びましょう。



こぬま いくこ
 図書室スタッフ 小沼 郁子

NEW 新着本

新しく購入した図書の一部を紹介します。図書室にない本は、リクエストできます。お気軽にご相談ください。

一般書

海神の子 川越 宗一	食卓で読む一句、二句。 夏井 いつき	彼岸花が咲く島 李 琴峰

児童書

世界でいちばん優しいロボット 藤田 正勝	はじめての哲学 藤田 正勝	ガラスの犬 フランク・ポーム

楽しむ 親子で レシピ

日本では、旧暦の8月15日の夜（現在の9月中旬～10月上旬）を「十五夜」と呼び、だんごやススキなどをお供えして、お月見をする風習があります。今年の十五夜はだんごを作り、家族で月を見上げ、うさぎを探してみたいかがでしょうか？



- 材料（4人分）
- 白玉粉…200g
 - 絹豆腐…250g
 - ★みたらしのたれ
 - しょうゆ…大さじ2
 - 砂糖…大さじ2
 - 水…100ml
 - 片栗粉…大さじ1
- 作り方
- 1 白玉粉をボウルにあげ、絹豆腐を少しずつ混ぜ合わせながら加えていく。
 - 2 丸く形成し、沸騰したお湯で2分ゆでる。
 - 3 2を、水を張ったボウルにさっとくぐらせ、水気を切る。
 - 4 小鍋に★みたらしのたれの片栗粉以外の材料を入れる。沸騰後、火を止めてから片栗粉を入れ、とろみをつける。
 - 5 3を器に盛り、みたらしのたれをかける。

子育てナビ

焦らず楽しく、離乳食を進めましょう♪

問 子育て健康課 ☎84-0327

7・8か月頃になると…
 この時期になると、大人の食事からの取り分けが可能になり、今までのような味付けがない離乳食だと食べなくなる子が多くいます。今までと違い、様々な食材を組み合わせた離乳食をあげましょう！味噌、しょう油などの調味料も少量であれば使用できますので、ママやパパが食べてもおいしいと感じるような離乳食をあげましょう。

離乳食を始める目安

5～6か月頃に、次の様子が見られたら離乳食を始めましょう！

- 首が座っている。
- 食べ物に興味を示す。（よだれが増える、食べ物を目で追う。）
- スプーンなどを口に入れても、舌で押し出すことが少なくなる。
- 授乳間隔が3～4時間空いてくる。

上手いかわなくても、焦らなくて大丈夫です。離乳食初期は、「栄養を摂る」より、「食事に慣れる」期間です。1～2口しか食べなくても、無理して食べさせずに、食事を終わりにしてしまってもOK！食事の時間は、お子さんとママ・パパにとって、楽しいものにしましょう。



「食べてくれるかしらっ」と心配ですか？大丈夫です！少しずつ食べられるようになりまします。まずは、楽しい雰囲気ですべての楽しさを体験させてあげましょう。
 離乳食とは、母乳やミルクを飲んで育ってきた赤ちゃんが、少

この時期になると、大人の食事からの取り分けが可能になり、今までのような味付けがない離乳食だと食べなくなる子が多くいます。今までと違い、様々な食材を組み合わせた離乳食をあげましょう！味噌、しょう油などの調味料も少量であれば使用できますので、ママやパパが食べてもおいしいと感じるような離乳食をあげま

離乳食のお悩み、お聞きします！
 お電話や面談での相談を随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。また、離乳食教室を開催しています。詳しくは町HPをご覧ください。
 子育て健康課管理栄養士 眞貝 美早紀
 ▲7月に開催した離乳食教室

元気だより



▲遠足後、生徒が作成した鎌倉新聞



▲みんなでお参り

問 文命中学校 ☎83-1386

鎌倉はいつまでも元気だ！
 文命中学校総括教諭 岸谷 郁美
 新型コロナウイルスの猛威が連日報道され、何をすることも、かげりを感じ、晴れてまうような昨今です。
 そのような中、2年生は恒例の鎌倉遠足に行ってきました。梅雨の真只中、心配していた天気は、思いが届いてまさかの晴天！
 私たちの不安をよそに、普段と全く変わらぬ佇まいで迎えてくれた、鶴岡八幡宮、銭洗弁財天、高德院、明月院…大仏様の静かなまなざし、あじさいの可憐さなどから、勇気と癒やしをもらえた一日でした。
 復路の電車の中で、今日刻まれた新たな思い出を状況を理解し、小声でひそひそと話している生徒の姿に、成長を感じると共に、楽しく笑い合える日が早く戻ることを心より願った帰途でした。

「元気だより」では、町の子どもたちの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。